

令和4年5月6日

報道機関各位

東京たま広域資源循環組合

## 谷戸沢処分場のフクロウ2羽が無事に巣立ちました！ ～成長したフクロウのヒナが、日の出の森の中へ～

東京たま広域資源循環組合（管理者：東村山市長 渡部 尚）が管理する谷戸沢廃棄物広域処分場内（東京都日の出町）の巣箱で生まれた2羽のフクロウのヒナが、新緑の森の中へ巣立ちましたのでお知らせします。

当組合では、2月27日にフクロウが谷戸沢処分場の樹林内で営巣を始め、4月1日にヒナを確認したことをお伝えしました。このヒナたちはすくすくと育ち、5月2日の早朝に1羽、同日のお昼頃に1羽のヒナがそれぞれ巣立ったことを確認しました。

なお、フクロウのヒナたちの様子は当組合のホームページでご覧いただけます。

フクロウなどの猛禽類が営巣・子育てすることは、処分場内及びその周辺地域の生態系の豊かさを示す指標となります。これからも、当組合では鳥類や動植物のモニタリングを継続的に行うとともに、豊かな自然環境の保全・創出に努めてまいります。



今年巣立った2羽の  
フクロウのヒナ  
(5月1日撮影)

循環組合のホームページでは営巣したフクロウのヒナの巣立ちまでの写真を紹介しております。

◆循環組合ホームページ：<https://www.tama-junkankumiai.com/>

連絡先 環境課 辻、井上、北澤

TEL：042(597)5581

適正化・広報担当 関、山本、関谷

TEL：042(597)6152

今年巣立った2羽のフクロウのヒナ（5月1日撮影）



ヒナたちのエサを運ぶ親フクロウ（4月30日撮影）



今回、場内で撮影されたフクロウの様子  
必要があれば、写真、映像を提供することができます。